

学校だより 1月号

令和8年1月8日（木）



0 4 8 (6 4 1) 1 2 1 4

048 (641) 6680 (さわやか相談室)

<https://omiyakita-j.saitama-city.ed.jp/>

學校教育目標

『人間性豊かな 実践力のある生徒』

- ◆ たしかな学力
 - ◆ ゆたかな心情
 - ◆ たくましい身体

2026 地域と共に歩む大宮北中学校へ

校長 廣江剛

新しい年を迎えることになりました。今年は60年に1度の「丙午」(ひのえうま)の年だそうです。「丙」は火(太陽)を「午」は馬(力強さ、行動力)を意味し、非常にパワフルでエネルギーッシュな年とされています。本校は昨年、市教育委員会委嘱の「進路指導・キャリア教育」の研究発表を行い、市内から多くの先生方をお招きし、研究の成果を発表することができました。また、部活動では、陸上部3年生の石橋煌太郎さんが関東・全国大会に出場。学習活動では2年生の佐藤日向さんが、全日本科学教育振興委員会賞を受賞するなど、素晴らしい活躍が各方面でみられました。本年も北中生の一層の活躍を期待しています。



学校の主役である生徒の活躍は、何より嬉しく誇れるのですが、それを支える保護者・地域の皆様のお力添えにも心から感謝しています。秋の季節、大宮公園の美しい紅葉の中に佇む本校は、最高の自然環境であります。来る日も来る日も降り積もる落ち葉の量は、学校だけではどうにもならないものがあります。PTAの呼びかけによる落ち葉清掃に多くの方々が協力し、毎週早朝の貴重な時間を割いていただいたことに、心から感謝しております。また、積もった落ち葉は排水溝の中に溜まり、放置すれば水害にもなりかねません。11月28日に行った校内奉仕作業に際しましても、PTA、同好会、自治会、MMM、RB大宮アルディージャをはじめとする大人の力と北中生の若い力が結集して作業ができたこと、大変ありがとうございました。12月3日には、本校の1年生が大宮北小と合同で大宮公園の清掃活動を行いましたが、green4の鈴木さんに、集めた大宮公園の落ち葉で堆肥を作り、植樹の際に再利用することを教えていただきました。SDGsの視点からも大変勉強になるお話をでした。

また、秋頃に、本校の昭和42年度の卒業生が同窓会を行ったそうです。その際、集まった皆さんで、北中生には、たくさん本を読んで心を豊かにしてもらいたいという話になり、学校に本を寄贈したいとの申し出がありました。代表の杉山さんと司書の岡田先生が考えて北中生に読んでほしい本を選定し、たくさんの本を購入させていただきました。岡田先生が、図書室の一角に寄贈いただいた本のコーナーを作ってくれるそうなので、ぜひ手に取ってほしいと思います。さらに、12月には、未来くる先生として卒業生である漫画家のあらい太朗さんに御講演をいただきました。太朗さんオリジナルの「アリとキリギリス」のお話は、北中生の心に深く響く様子が十分に伝わってきました。また、つい先日は、本校の元校長である荻田哲男先生に、チャレンジスクールで書き初めの御指導をいただきました。荻田先生は、本校にも様々な作品を残していただいておりますが、本物の書家です。直接御指導いただいた生徒たちを羨ましくさえ思いました。卒業生の先輩方はもちろん、あらい太朗さんも、荻田哲男先生も本校から遠くないところに住まわれており、今後も本校を支え、応援してくださる心強いサポートーーであると思っております。

私が本校に赴任して9カ月が経ちましたが、本当に多くの方々に支えられた大宮北中学校であることを実感しております。本年もこれまで以上に御支援・御協力のほど、何とぞよろしくお願ひ申し上げます。学校は、早くも来年度の教育課程の編成について検討を始めていますが、来年度も本校そして大宮公園を中心据えた学校・地域共同作業に力を入れてまいりたいと考えております。また、大宮公園をフィールドとした写生会・寿能台レース等の学校行事についても伝統を受け継いでいく予定です。最後になりますが、今年は2月に「ミラノ・コルティナ冬季オリンピック・パラリンピック」3月に「ワールドベースボールクラシック」6月に「サッカーワールドカップアメリカ・メキシコ・カナダ大会」が開催される等、楽しみな世界的スポーツ行事が目白押しで、今からそわそわてしまいます。長らく工事をしていた本校の体育館・武道場も間もなくきれいに生まれ変わります。本年も北中生の皆さんにとって、毎日がわくわくするような楽しい年になることを心から願っています。